

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-11 中国残留邦人等支援事業 □支 援 部 門						
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対して、生活支援給付金等を支給し、中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域でのいきいきとした暮らしを実現する。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源 状 況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	0	0	0			
	(国・県)	0	0	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	0	0	0			
	人員配置数	0.0	0.0	0.0			
	人件費(千円)	0	0	0			
事務事業 運営経費	協働の パートナー	無	無	無			
	総事業費(千円)	0					
	市民1人当 りの経費(円)						
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
中国残留邦人等支援事業	0千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	市内在住で、世帯収入が一定の基準に満たない中国残留邦人等に対し、生活支援給付金を支給する(該当者なし)。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	特になし(該当者なし)		
課題解決のための取組	特になし(該当者なし)	取組の結果	□解 決 □未解決
未解決の課題	特になし(該当者なし)		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照) 	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 今後も継続し事業を進めていく。	 B	※□事業完了
		②妥当性 ○				課長等名
		③有効性 ○				生活福祉課長
		④公平性 ○				曾根 健治

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
中国残留邦人等 支援事業	主な個別事業	1375生活支援扶助費	10	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							